



# せたがや区議会だより

No.232

平成23年(2011年)11月23日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

## 平成22年度決算を認定 第3回例会

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から41件、議員から1件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、議会の構成が一部変わりました。

#### ●22年度各会計決算の認定 6件

##### ○一般会計

賛成 自民新、公明、生新社、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、み行、無党派

##### ○国民健康保険事業会計

賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○後期高齢者医療会計

賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○老人保健医療会計

賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○介護保険事業会計

賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○中学校給食費会計

賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○国民健康保険事業会計(第一次)

賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○後期高齢者医療会計(第一次)

賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○介護保険事業会計(第一次)

賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○中学校給食費会計(第一次)

賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

国保会計 七十四億二千万一千円  
後期高齢者会計 一六〇億八千九百九千円  
介護会計 四六五億四四〇万六千円  
給食会計 一億八千六百万一千円

#### ●条例の新設

##### ○基本構想審議会条例

新たな基本構想及び基本計画を策定するため、審議会を設置。  
賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○区税条例

地方税法などの改正に伴う、区民税に係る寄附金税額控除の適用下限額の引き下げなど。  
賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○災害弔慰金の支給条例

災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴う、災害弔慰金を支給する遺族の範囲の拡大など。  
賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○区民農園条例

区民農園の使用料の額の改定。  
賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○障害者福祉施設条例

烏山福祉園を移転し、給田福祉園(給田5-2-17)として設置すること。  
賛成 自民新、公明、生新社、み行、民主  
賛成多数 減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産

##### ○公園条例(全員賛成)

次公園の新設。

##### ○学校設置条例(全員賛成)

船橋中と希望丘中を統合し、船橋希望中(船橋6-25-1)を設置すること。

##### ●工事請負契約の締結

仮称喜多見複合施設新築工事(全員賛成) 1件

##### ●指定管理者の指定

17件

##### ●指定管理者の指定

17件

##### ●指定管理者の指定

17件

施設名称	指定管理者
世田谷区民会館	株式会社
第2別館	フジランド
烏山区民会館	烏山区民センター

施設名称	指定管理者
太子堂	太子堂区民センター
区民センター	運営協議会
弦巻	弦巻区民センター
宮坂	宮坂区民センター
桜丘	桜丘区民センター
代田	代田区民センター
奥沢	奥沢区民センター
玉川台	玉川台区民センター
区民センター	運営協議会
深沢	深沢区民センター
鎌田	鎌田区民センター
区民センター	運営協議会
上北沢	上北沢区民センター
区民センター	運営協議会
粕谷	粕谷区民センター
区民センター	運営協議会
烏山	烏山区民センター
区民センター	運営協議会

施設名称	指定管理者
世田谷美術館	指定管理者
世田谷美術館分館	指定管理者
向井潤吉アトリエ館	指定管理者
世田谷美術館分館	指定管理者
清川泰次記念ギャラリー	指定管理者
世田谷美術館分館	指定管理者
宮本三郎記念美術館	指定管理者

施設名称	指定管理者
世田谷文学館	指定管理者
世田谷文学館	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者

施設名称	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者

施設名称	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者

施設名称	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者

施設名称	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者
世田谷文化センター	指定管理者

施設名称	指定管理者
区民健康村(全員賛成)	指定管理者
区民健康村富士山ビル	株式会社世田谷
区民健康村中野ビル	川場ふさふさと公社

施設名称	指定管理者
総合運動場(全員賛成)	指定管理者
大蔵運動場	公益財団法人世田谷区
二子玉川緑地運動場	スポーツ振興財団

施設名称	指定管理者
尾山台地域体育館	尾山台地域体育館
尾山台地域体育館	運営協議会
保健センター	指定管理者
世田谷区保健センター	指定管理者

施設名称	指定管理者
総合福祉センター(全員賛成)	指定管理者
総合福祉センター	公益財団法人
世田谷区保健センター	世田谷区保健センター

施設名称	指定管理者
世田谷福祉作業所	社会福祉法人
世田谷福祉作業所	武蔵野会
厚生会館(全員賛成)	指定管理者
厚生会館	社会福祉法人世田谷区
社会福祉協議会	社会福祉協議会

施設名称	指定管理者
老人保養ホーム(全員賛成)	指定管理者
老人保養ホームふじみ荘	大新東ヒューマン
老人保養ホーム	サピス株式会社
特別養護老人ホーム(全員賛成)	指定管理者
特別養護老人ホーム	社会福祉法人世田谷区
特別養護老人ホーム	社会福祉事業団
上北沢ホーム	社会福祉事業団

施設名称	指定管理者
特別養護老人ホーム	指定管理者
特別養護老人ホーム	社会福祉法人世田谷区
特別養護老人ホーム	社会福祉事業団
上北沢ホーム	社会福祉事業団

施設名称	指定管理者
特定公共賃貸住宅	指定管理者
柏谷四丁目アパート	財団法人世田谷
ほか48件	トラストまっつくり

施設名称	指定管理者
弦巻五丁目特定公共賃貸住宅ほか8件	財団法人世田谷
トラストまっつくり	トラストまっつくり

施設名称	指定管理者
高年齢者借上げ集合住宅	指定管理者
高年齢者借上げ集合住宅	指定管理者
高年齢者借上げ集合住宅	指定管理者



世田谷アートタウン2011「三茶de大道芸」の様子

#### 会派名等

自民新 自由民主党世田谷区議団・新風  
公明 公明党世田谷区議団  
生新社 生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団  
共産 日本共産党世田谷区議団  
み行 みんなの党 世田谷区選挙区  
民主 世田谷区民民主党  
無党派 無党派市民  
減税 減税世田谷  
虹 レインボー世田谷  
世田谷 世田谷無所属  
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時給のあいさつ状などは禁止されています。

(8ページへ続く)



# 代 表 質 問

9月20日及び21日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

## 自由民主党世田谷区議団・新風

山口 ひろひさ議員

### 具体性に欠ける区政運営方針

**質問** 区長が示した区政運営方針は、具体性が乏しく区長の顔が全く見えてこない。区長はリーダーシップを発揮し、みずからの方針を明確かつ、より具体的に示せ。

**区長** この方針は従来の区政運営を補強する柱を示したものである。持続可能な財政運営への取り組み

**質問** 行政サービスを持続可能にする財政運営は、区政の最重要課題だ。事業見直しを著実に進めるとともに、基金を取り崩さない中

**副区長** 新たな基本計画策定などの中で、中期の計画を検討する。行政改革の徹底

**質問** 24年度予算での財源不足の解消に向け、保健福祉サービスでも例外なく利用者負担の適正化や民間活力の導入を進めるべきだ。

**区長** 行政改革を徹底せよ。区長は行政改革を徹底せよ。

**区長** あらゆる角度から事業手法を見直すことを指示した。

**災害に強い庁舎の整備**

**質問** 震災被災地の庁舎倒壊による自治体機能の喪失の問題を踏まえると、老朽化した本庁舎の巨大地震への備えは急務だ。本格的な整備の具体的な計画を早急に示せ。

**副区長** 区の財政状況は厳しく区民意見などを踏まえ判断していく。災害対策としての道路整備の推進

**質問** 災害に強いまちづくりを進める上で、区民の避難路となる道路や大火からまちを守る道路などを着実に整備することが不可欠だ。区長は道路整備を積極的に進めよ。

**区長** プロセスをしっかりと情報公開し、区民の考えを聞いて進める。下北沢再開発事業への区長の見解

**質問** 区長の事業見直しを求める団体との交流や選挙前の発言から、下北沢駅周辺の都市計画道路事業中止への不安を募らせる地権者は多い。事業への見解を明確に示せ。

## 公明党世田谷区議団

高橋 昭彦議員

### 下北沢が安全な拠点となり、一層魅力を発信できるような努める。

**区長** 下北沢が安全な拠点となり、一層魅力を発信できるような努める。二子玉川再開発の推進

**質問** 二子玉川再開発事業では、公共施設や公共空間が整備される

**区長** より公共性、公益性に配慮した計画にするよう強く求める。京王線連立事業の積極的な推進

**質問** 京王線連立事業や関連事業は、都市計画事業認可を目指して

**区長** 京王線連立事業や関連事業は、都市計画事業認可を目指して

**区長** 区民との合意形成に努め、区民参加型のまちづくりを進める。外環道の早期整備の実現

**質問** 外環道は環8などの渋滞の大幅な緩和に寄与し、災害時には

**区長** 復興に大きな役割を果たす。整備の早期実現に向け、

**区長** 区にプラス効果が表れるものになるよう国との議論を続ける。地域行政制度の今後のあり方

**質問** 区長は先の議会で、区域行政制度を蘇生させると答えた。

**区長** 地域や地区のあるべき姿と組織としての地域行政制度のあり方をどう結びつけ、発展させていくのか。

**区長** 支所を中心に今後のあり方の検討を進めるよう指示した。自治体らしいエネルギー対策

**質問** 新エネルギーの開発は国が担うべきであり、自治体は省エネ

**区長** 省エネを基本としたライフスタイルの普及などに取り組む。入札制度の改善

**質問** 区内に実態がない事業者が区内事業者を名乗り入札に参加する不正な事態がまだに改善していない。入札の参加条件に本社が区内にあることを加えよ。

**財務部長** 条件設定のあり方について、今後検討、見直しを進める。

## 生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団

桜井 純子議員

### 区の新たな基本構想の策定の視点

**質問** 区長は区の新たな基本構想と基本計画の策定準備を進めると表明した。弱者を排除しない社会の構築を目指し、より多くの区民参加を得ながら策定作業を進めよ。

**区長** 幅広く区民の意見や提案をもらう機会を設けながら策定する。身近な地域で働ける世田谷の実現

**質問** 先の震災以降、区民の職住近接への関心が高まっている。区内産業の活性化を積極的に進めて

**区長** 新たな雇用を生み出し、身近な地域で働ける環境の整備に努めよ。産業政策部長

**質問** 区内で働ける場と機会の創出に向けて取り組む。真に災害に強いまちづくりの実現

**質問** だれ一人として排除されない災害対策が重要だ。新たな地域防災計画に女性や高齢者、障がい者などこれまで中心になりにくかった当事者の声を積極的に生かす。

**副区長** 災害弱者の視点からも災害対策を総点検し計画に反映する。子どもの人権擁護の推進

**質問** 子どもの人権を守る取り組みには、子どもや保護者だけではなく学校の理解も重要だ。人権擁護に対する教員の意識向上を図れ。

**教育長** 校長会と連携し、機会をとらえて教職員の意識を高める。区自然エネルギー政策の展開

**質問** 太陽光発電がビジネスチャンスとして注目されている。これを機に自然エネルギー政策を推進し、地域経済の活性化につなげよ。

**環境対策部長** 先進事例も参考に、区の実情を踏まえた策を検討する。障がい者の就労支援の充実

**質問** 障がい者の就労支援を充実すべきだ。障がいの有無に関係なく、だれもが対等な仕事のパートナーとして働く滋賀県の社会的事業所を参考に、取り組みを強めよ。

**保健福祉部長** 地域での雇用創出など、就労の機会拡大に取り組む。

## 日本共産党世田谷区議団

里吉 ゆみ議員

### 避難者に対する住宅支援策

**質問** 区が東日本大震災の避難者に提供している区営住宅などは、期間が1年となっているなど、長い避難生活を支えるには不十分だ。被災者の立場に立ち支援を進めよ。

**区長** 区としてできる限りの心ある支援を行っていく。放射線量のきめ細かな測定

**質問** 子どもを被曝から守るため、区内の放射能汚染の実態を詳細に把握すべきだ。保育園などに測定器を配備し、きめ細かに測定せよ。

**環境対策部長** 関係所管と連携し、対応について検討を継続する。再生可能エネルギーの普及促進

**質問** 再生可能エネルギーの爆発的普及には、太陽光パネルを設置しやすい仕組みが必要だ。初期費用がかからずに設置できる制度の構築に向け、取り組みを進めよ。

**区長** 爆発的な普及をとという提案を受け、具体策を進展させる。住宅の耐震化のさらなる促進

**質問** 耐震基準を満たしていない住宅の耐震補強を促進するため、新たな具体策が必要だ。耐震助成の対象に、一部屋だけの耐震改修や耐震シェルターの設置を加えよ。

**都市整備部長** 1階だけを耐震化する工事について検討を進める。区民の声にこたえる区政への転換

**質問** 保坂区政は福祉などよりも道路開発を優先する前区政への批判を背景に誕生したが、区政の根幹である基本計画などは継承すると聞く。区政は転換できるのか。

**区長** 住民参加などにより区民の理解を得た上で区政を運営する。厳しい区民生活への区長の認識

**質問** 弱い立場の区民に視線を向けることは区政運営の基本だ。区長は生活保護や就学援助が必要な家庭の増加などを認識し、区民の厳しい生活の支援に全力を挙げよ。

**区長** 社会的弱者に支援を惜しま



川場村との区民健康村縁組協定が30周年を迎えました

## 生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団

桜井 純子議員

### 災害時の情報伝達手段の拡充

**質問** 災害時に区からの情報を区民へ瞬時に伝える手段を確立すべきだ。区内に139ある商店街に協力を求め、商店街のスピーカーを活用してエフエム世田谷を放送せよ。

**政策経営部長** エフエムの聴取手段の多様化を進める中で検討する。住宅のリノベーションの促進

**質問** 地球温暖化防止策を一層推進すべきだ。住宅の省エネ化は環境負荷の軽減に効果が高いことから、環境に配慮したリノベーションが進むよう、助成制度を設けよ。

**環境対策部長** 今後、区の特性を生かした支援の方策を検討する。多角的な若者支援施策の展開

**質問** 不登校やひきこもりなどの若者への支援をさらに強化すべきだ。就労の場の提供や共同生活寮の運営などを行う民間企業と連携し、多角的な支援を展開せよ。

**区長** 民間支援団体とも連携し、若者が希望を持てるよう支援する。高齢者の社会参加の仕組みづくり

**質問** 高齢者が行政の担い手として活躍できる場を創出すべきだ。豊かな経験を保育サービスなどに生かす仕組みを構築し、社会参加の場や共助の関係づくりに生かす。

**副区長** 社会参加や共助の仕組みがさらに発展するよう取り組む。予防型福祉行政の構築

**質問** がんによる死亡者がふえており、対策の強化が急務だ。検診の拡充や受診機会の拡大、保健指導の充実を図るなど、予防と早期発見に重点を置いて取り組め。

**保健福祉部長** 受診率を向上させるための一層の取り組みを進める。保健医療福祉の拠点整備

**質問** 障害者や高齢者が住みなれた地域で暮らし続けるには地域と家庭、福祉と医療をつなぐ拠点が重要だ。拠点整備に向け、梅ヶ丘病院跡地取得の取り組みを進めよ。

**区長** 梅ヶ丘病院跡地利用に関す

## 日本共産党世田谷区議団

里吉 ゆみ議員

### 避難者に対する住宅支援策

**質問** 区が東日本大震災の避難者に提供している区営住宅などは、期間が1年となっているなど、長い避難生活を支えるには不十分だ。被災者の立場に立ち支援を進めよ。

**区長** 区としてできる限りの心ある支援を行っていく。放射線量のきめ細かな測定

**質問** 子どもを被曝から守るため、区内の放射能汚染の実態を詳細に把握すべきだ。保育園などに測定器を配備し、きめ細かに測定せよ。

**環境対策部長** 関係所管と連携し、対応について検討を継続する。再生可能エネルギーの普及促進

**質問** 再生可能エネルギーの爆発的普及には、太陽光パネルを設置しやすい仕組みが必要だ。初期費用がかからずに設置できる制度の構築に向け、取り組みを進めよ。

**区長** 爆発的な普及をとという提案を受け、具体策を進展させる。住宅の耐震化のさらなる促進

**質問** 耐震基準を満たしていない住宅の耐震補強を促進するため、新たな具体策が必要だ。耐震助成の対象に、一部屋だけの耐震改修や耐震シェルターの設置を加えよ。

**都市整備部長** 1階だけを耐震化する工事について検討を進める。区民の声にこたえる区政への転換

**質問** 保坂区政は福祉などよりも道路開発を優先する前区政への批判を背景に誕生したが、区政の根幹である基本計画などは継承すると聞く。区政は転換できるのか。

**区長** 住民参加などにより区民の理解を得た上で区政を運営する。厳しい区民生活への区長の認識

**質問** 弱い立場の区民に視線を向けることは区政運営の基本だ。区長は生活保護や就学援助が必要な家庭の増加などを認識し、区民の厳しい生活の支援に全力を挙げよ。

**区長** 社会的弱者に支援を惜しま



# 代 表 質 問

代表質問、一般質問の模様をホームページで  
ライブ中継・録画配信しています。  
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/  
**議会中継** をクリック!



避難所運営訓練の様子 (三軒茶屋小学校)

ないことは重要だと認識する。  
**大型開発優先の前区政からの転換**  
**質問** 区長は選挙で大型開発優先の前区政からの転換を公約した。24年度予算編成に向け、二子玉川再開発や下北沢駅前ロータリー整備などの見直しをどう行うのか。  
**区長** 透明度や住民参加などの点から見直しが重要だと訴えてきた。  
**区長公約に掲げた福祉施策の実現**  
**質問** 区長は選挙で高齢者や障害者の声や医療、介護、福祉の現場の声を直接聞き、区独自の支援策を構築すると公約した。区長はどのように福祉施策を推進するのか。  
**区長** 区にふさわしい創意工夫を凝らした支援策を進めていきたい。  
**核兵器廃絶に向けた区長の認識**  
**質問** 核兵器禁止条約の実現を目指す機運が世界中で高まっている。平和市長会議加盟など、平和への取り組みを進めてきた区として条約実現に向けて積極的に取り組む。  
**区長** 今後も機会をとらえて区として核兵器廃絶について発信する。

みんなの党・世田谷行革10番  
大庭 正明議員

**区立小の川場移動教室の中止を!**  
**質問** 原発事故により川場村の放射線量は異常値を示し、移動教室では子どもの内部被曝が危惧される。放射線の影響が明らかでない以上、区長は中止を政治決断せよ。  
**区長** 川場村の取り組み状況などを踏まえ、継続の判断を行った。  
**下北沢の大型開発への区長の立場**  
**質問** 下北沢の大型開発では、区長は反対派との話し合いを望んでいる。中立の立場で話し合うのなら、都市計画事業の訴訟で国や都を支持する区長の立場を返上せよ。  
**区長** 区の立場を踏まえた上で合意形成に努め対立を乗り越えたい。  
**脱原発と自然エネルギー政策推進**  
**質問** 区長は脱原発や自然エネルギーの活用促進を目指しているが、何も具体策を示していない。条例や計画をつくるつもりはあるのか。  
**区長** 区民参加のシンポジウムや議会での議論を踏まえ判断したい。  
**都の発電事業への積極的な参加**  
**質問** 都が天然ガス発電所の建設を計画していると聞く。区は将来の電力の地産地消を視野に入れ、都の発電事業に積極的に参加せよ。  
**区長** 原発に頼らない電源開発については当然連携していきたい。  
**区職員の人件費の削減**  
**質問** 区の財政状況が大変厳しい今、安定した財政運営に向けて最優先に削減すべき費用が職員の人件費であることは明らかだ。区長は人件費の削減を断念せよ。  
**区長** まずは、営繕経費や電算経費についての再検証などを行う。  
**「生き残るセンター」の創設**  
**質問** 先の震災を教訓に、区民が災害から生き残れるまちを構築すべきだ。区立小と出張所などを統合し、地域の防災拠点機能をあわせ持つ生き残るセンターをつくれ。  
**区長** 災害対策総点検などを踏まえ、施設の防災機能強化に努める。

世田谷民党派  
中塚 さちよ議員

**支出削減に向けた区長の方針**  
**質問** 区の財政状況が厳しい中、被災者支援などの新たな課題に対応するには、徹底した無駄の削減が必要だ。24年度予算編成における支出削減に向けた方針を示せ。  
**区長** 施策の必要性の見直しや効率化などを基本方針とする。  
**外郭団体の抜本的改善**  
**質問** 区の外郭団体改善方針には、団体数の削減目標が明示されておらず、抜本的改善となっていない。統廃合を含めた改革に取り組め。  
**副区長** 次期仮称外郭団体改善方針の策定の中で検討していきたい。  
**二次避難所の空白地域の改善**  
**質問** 区内には災害時に一次避難所での生活が困難な高齢者などを受け入れる二次避難所の空白地域がある。介護付き有料老人ホームと協定を結び、早急に改善せよ。  
**地域福祉部長** 事業者と協議を進め、協定の締結も視野に検討する。  
**再生可能エネルギーの調査研究**  
**質問** 太陽光に限らず、あらゆる再生可能エネルギーの活用を推進すべきだ。区内大学などと連携し、マグネシウム発電や石油燃料を産出する藻類の活用などを研究せよ。  
**環境対策室長** 区にふさわしいエネルギーの利用について検討する。  
**胃がん検診受診率向上の取り組み**  
**質問** 胃がん検診時のレントゲン撮影による被曝を懸念する声がある。被曝への正しい知識の周知徹底と検診の受診率向上に取り組め。  
**保健所長** 検診についての正確な知識の周知と受診率向上に努める。  
**子どもの人権問題への取り組み**  
**質問** 子どもの人権やいじめの問題の解決には、学校と連携した取り組みの強化が不可欠だ。区は教育委員会が策定中の行動計画にあわせ、どう取り組みを進めるのか。  
**区長** いじめ防止などの取り組みを教育委員会とともに一層進める。

本文中で使用している省略表記  
支所 総合支所  
環境対策室長 環境総合対策室長  
保健所長 世田谷保健所長  
デジタル映像産業誘致支援事業 産業誘致集積支援事業  
清掃一組 東京二十三区清掃一部事務組合



新設された中町どんぐり緑地 (中町1-5-9)

## 一 般 質 問

9月21日及び22日の本会議では、28名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

**あへ 弘幸議員 (自民新)**  
**災害時の協力医療機関の活動支援**  
**質問** 医師会などの協力医療機関が災害時に十分機能する環境を区が責任を持って整備すべきだ。実践的な訓練の実施や備蓄品、医療設備の充実などに早急に取り組め。  
**答弁** 災害医療運営連絡会などの場で各団体との話し合いを進める。  
**エネルギー政策の実現の方策**  
**質問** 区長が掲げるエネルギー政策は国政で議論されるものであり、実現可能か疑問だ。目標達成までの日程と具体的な取り組み、それに伴い区民に強いる負担を示せ。  
**答弁** 当面2年の期間を定め、エネルギー使用量の削減を目指す。  
**健診や予防を重視した施策の展開**  
**質問** 少子高齢化に伴う医療費の増加は深刻であり、従来の疾病を治す保健医療の考えでは保険制度は破綻する。医療費抑制に向け、きめ細かな予防と健診に力を注ぎ、きめ細かな予防対策に努め、きめ細かな予防対策に努める。  
**青空 こうじ議員 (無所属)**  
**イベントに参加した区長の見解**  
**質問** 区民まつりや盆踊りなど、区内で開催された今夏のイベントは人と人とのきずなを深める有意義なものだった。数多くのイベントに参加した区長の見解を示せ。  
**答弁** 自治の力を踏まえた、いい祭りになっていくよう支援したい。  
**ポロ市通りのにぎわいの創出**  
**質問** ポロ市通りを日ごろから人が集まり、交流が生まれる場にするべきだ。浅草の伝法院通りのような江戸時代の風景をポロ市通りで再現し、にぎわいの創出を図れ。  
**答弁** 関係団体と取り組みの方向などについて検討していきたい。  
**交通マナー向上への取り組み**  
**質問** 歩行者のマナーの悪さや交通ルールを無視した危険な自転車走行を目にする。区民の交通ルールの遵守とマナーの向上に向け、区職員が率先して模範を示せ。  
**答弁** 今後も、区職員が率先してルールを守る環境づくりに努める。  
**新川 勝二議員 (自民新)**  
**豪雨対策の強化**  
**質問** 豪雨対策となる河川水路や下水道の雨水管の整備が不十分だ。区長は区政運営方針で水害対策に言及しなかったが、水害から区民を守るため、豪雨対策を強化せよ。  
**答弁** 河川水路や下水道などのインフラ整備を引き続き推進する。  
**学校全体で取り組む不登校対策**  
**質問** 不登校の児童生徒は依然として多く、原因も多様化している。問題の背景を理解して適切に対処するため、担任一人に任せずに教職員が一丸となって対応せよ。  
**答弁** 学校全体で組織的に取り組むよう、指導や支援を充実する。  
**高齢者の在宅療養生活の支援**  
**質問** 高齢者が安心して自宅で療養できる環境を整備すべきだ。一人ひとりのニーズを十分に把握し、最適な医療やサービスにつなげるための総合的な相談体制を構築せよ。  
**答弁** 安心した在宅療養生活を送れるよう相談支援の充実に努める。  
**植田 靖子議員 (生ネ社)**  
**ごみの分別の啓発の徹底**  
**質問** 区内の清掃工場が高濃度のダイオキシンや自己規制値を上回る水銀が検出され、対応に巨費が投じられた。焼却不適物の混入防止に向け、分別の啓発を徹底せよ。  
**答弁** 引き続き、ごみの適正排出の啓発や指導を強化していく。  
**プラスチックリサイクルの推進**  
**質問** 資源のリサイクルに区は積極的に取り組むべきだ。低迷する食品用透明プラスチック回収率の向上に向け、回収方法の周知や回収拠点の増設などに一層取り組み。  
**答弁** 今後も、費用対効果などを踏まえ、回収環境の整備に努める。  
**障がい者の相談支援体制の確立**  
**質問** 家族のような相談相手を求める障がい者は多い。親子後対策の点からも、障がい者の気持ちを理解できる人材を育成し、自立を支える相談支援体制を確立せよ。  
**答弁** 第3期障害福祉計画に人材育成の取り組みを反映予定である。



桜井 稔議員(共産)

都道補助26号線整備計画の見直し

質問 三宿、池尻地域の住民は、住環境の悪化を招く補助26号線整備計画の抜本的な見直しを切に望んでいる。区長はこの声を真摯に受けとめ、都に見直しを求めよ。

答弁 区としては、早期整備が必要な路線であると認識している。

新たな視聴覚ソフトの購入

質問 区は約10年間、区民貸し出し用の16ミリ映画フィルムやDVDなどの視聴覚ソフトを購入していない。新たなソフトを購入し、区民の視聴覚活動を一層支援せよ。

答弁 財政状況などを踏まえ、今後の方向性を検討する。

三軒茶屋駅のエレベーターの増設

質問 田園都市線三軒茶屋駅には、地上と改札階を結ぶエレベーターが1基しかない。区民の利便性向上のため、駅南側へのエレベーター設置を東急電鉄に働きかけよ。

答弁 引き続き、関係機関と連携して設置が図れるよう努める。

三井 みほこ議員(自民新)

二次避難所の円滑な運営

質問 災害時に介護が必要な高齢者などを受け入れる二次避難所の運営者に避難者情報が伝わっていない。専門家の配置も含めて円滑に運営できるよう情報を提供せよ。

答弁 マニュアルの改訂を初め、対応策の充実や強化を図る。

狂犬病予防策の強化

質問 災害時の感染症対策は重要であり、特に致死率が高い狂犬病の予防は不可欠だ。まずは未登録犬を含む飼育頭数を把握し、平時からの対策を徹底せよ。

答弁 関係機関と連携を図りつつ、犬の登録への普及啓発を徹底する。

路地状敷地への建築規制の強化

質問 都条例により路地状敷地には共同住宅を建築できないが、長屋形式であれば大規模建築物を建てられてしまう。安全確保の点から、都に規制強化を一層求めよ。

答弁 安全の点から、引き続き都と情報交換を行い、検討を進める。

桃野 よしふみ議員(み・行)

適正な補助金支出への取り組み

質問 区がデジタル映像産業誘致支援事業として補助金を支出した事業者は、総務省から様々な問題を指摘された事業者だ。区は補助金を支出に際し適正に審査したのか。

答弁 契約事務処理を確認し、適正に行われていると確認している。

事業が中止に至った経緯の検証

質問 多額の税金を費やしたデジタル映像産業誘致支援事業は、わずか1カ月で頓挫した。同様の事態を繰り返さぬよう、区は中止に至った経緯や問題点を検証せよ。

答弁 検証をしっかりと行い今後このようなことがないよう進める。

事前説明と異なる委員会資料

質問 事業中止を報告した委員会の資料には、事前説明時の資料に掲載されていた「調査、検証して報告する」の文言が削られたのか。

答弁 申し訳ないことであり、手違いであり、今後注意していく。

小松 大祐議員(自民新)

区施設の効率的な運用

質問 厳しい財政状況の中、区施設の効率的な運用は急務だ。将来の人口構造変化を見据え、長期的な視点で施設の長寿命化や統廃合などを行うP.R.E戦略を打ち出せ。

答弁 資産活用に関する研究を進め、資産の効果的な活用を図る。

区立校の適正配置の推進

質問 良好な教育環境の確保の点に加え、行政コスト削減の点からも区立校での児童生徒の偏在化への迅速な対応が必要だ。区は区立校の適正配置を積極的に進めよ。

答弁 引き続き調査、研究を進め、計画の具体化への取り組みを急ぐ。

受益者負担の見直し

質問 区財政が逼迫する中、行政サービスの継続や充実を図るには、受益者負担の見直しが必要だ。所得水準に応じた保育料の値上げや新BOP事業の有料化を進めよ。

答弁 行政経営改革計画に基づき、区民意見などを踏まえ検討する。

小泉 たま子議員(自民新)

優先順位を明確にした施策の展開

質問 区長は支所や出張所などが町会やNPOなどと有機的につながることを目指すとしたが具体性に乏しい。施策の優先順位を明確にして具体的な内容を明示せよ。

答弁 地域行政制度のあり方を支所を中心に検討するよう指示した。

災害時の地区の責任者

質問 地区での災害時の安否確認などの態勢づくりには、福祉や区民生活などの部門を越えた行政のまとめ役が不可欠だ。区長は地区の責任者はだれだと考えるのか。

答弁 出張所などが中心の役割を果たすべきだと考える。

町会や自治会の強化

質問 区長が掲げた地域住民自治の強化は、町会や自治会を強化することで実現できる。町会や自治会と区の関係について、区長が描く将来像とその実現の方策を示せ。

答弁 町会や自治会の活動の活性化に向けきめ細かく連携していく。

岡本 のぶ子議員(公明)

子宮頸がんワクチンの接種率向上

質問 子宮頸がんワクチンの接種に必要な1万5000円の自己負担が、接種率低迷の原因だと考えられる。他自治体の例を参考に接種費用を全額負担し、接種率を向上させよ。

答弁 国の定期予防接種化などの動きに注目し、今後の課題とする。

音響式信号機の整備情報の周知

質問 視覚障害者の安全確保の観点から音響式信号機は重要であり、新設や改修の情報は迅速に周知すべきだ。ホームページに詳細な内容を掲載するよう警察に求めよ。

答弁 区として情報周知に努め、警察署へも要望を届けていく。

災害時の児童生徒の安全確保

質問 先の震災を教訓に、学校での災害対策を強化すべきだ。震災時の区立校での対応事例を集めて防災マニュアルを充実し、地域と連携して子どもの安全を確保せよ。

答弁 マニュアルの改訂整備に取り組み、対策の一層の強化を図る。

津上 仁志議員(公明)

発達障害児の教育環境の充実

質問 発達障害がある子どもの教育環境の整備に力を注ぐべきだ。増加傾向にある発達障害児の状況を踏まえ、早急に特別支援学級の拡充や通常学級への支援を行え。

答弁 校外アドバイザーを派遣するなど支援の取り組みを充実する。

公募による指定管理者の選定

質問 指定管理者制度は施設の運営コスト削減などが目的だが、管理者の大半が特別な事情を理由に非公募で選ばれている。厳しい財政状況の中、積極的に公募せよ。

答弁 指定管理者制度を十分に活用するための見直しを適宜行う。

防災行政無線の難聴地域の解消

質問 防災行政無線は災害情報などを区民に伝える手段だが、音の反響などで聞きとりにくい地域がある。放送内容を常時電話で確認できるサービスを開始せよ。

答弁 実施に向け検討し、災害対策総点検の中で対応策を示す。

福田 妙美議員(公明)

インターネットラジオの周知

質問 先の震災の被災地では、ラジオやインターネットが重要な情報収集手段となった。難聴地域でも聴けるエフエム世田谷のインターネットラジオを広く周知せよ。

答弁 災害時区民行動マニュアルでの周知など認知度向上に努める。

がん検診受診率の向上

質問 区の22年度のがん検診受診率は、女性特有のがん以外は10%にも満たない。土日の受診枠を拡大するなど、受診率の向上を図り、がんの早期発見につなげよ。

答弁 受診しやすい体制の整備や効果的な啓発と受診勧奨を行う。

認知症の早期発見への取り組み

質問 認知症を早期に治療できれば、地域で安心して生活を送ることができる。早期発見に向け、65歳以上の特定健診の項目に認知症に関する内容を追加せよ。

答弁 介護予防の基本チェックリストへの新項目の追加を検討する。

石川 征男議員(自民新)

都市計画道路の積極的な整備

質問 災害に強いまちづくりを一層強力に進めるべきだ。震災時に火災の延焼遮断帯や避難路、緊急物資の輸送路となる都市計画道路の整備を積極的に推進せよ。

答弁 都市防災の総合的な観点から、整備は重要と認識している。

緊急輸送道路沿道建築物の耐震化

質問 都が6月に特定緊急輸送道路を指定したことに伴い、区は今後、沿道の建築物の耐震化を促進する。区は円滑な事業推進のため、必要な人員体制を確立せよ。

答弁 24年度に向け、必要な人員を確保していきたいと考えている。

ワークライフバランスの推進

質問 中小企業は地域社会を支える重要な役割を担っている。女性や高齢者などの雇用が進むよう、区内中小企業のワークライフバランスの推進を一層支援せよ。

答弁 多面的な啓発など、地域の実情に合った取り組みを進める。

菅沼 つとむ議員(自民新)

高齢者施設の今後の方向性

質問 区が厚生会館やふじみ荘、老人会館のあり方を見直すとしてから何年も経過している。利用状況や老朽化などを踏まえ、施設の充実に向けた今後の方向性を示せ。

答弁 高齢者施設の充実を今後もより一層図っていく。

市民大学の開講場所の確保

質問 生涯大学との統合を求める意見や開講場所の移転問題があるなど、市民大学の先行きは不透明だ。次の開講場所を早急に示し、受講者の不安を取り除け。

答弁 期限までに代替場所を考えなければならぬと思っている。

二子玉川再開発事業への決意

質問 二子玉川再開発事業は、二期事業、二子玉川公園用地の取得、二子玉川公園外周道路の整備が着実に進み、先が見えてきた。今後の事業推進に向けた決意を示せ。

答弁 東京の西の玄関、二子玉川のさらなる発展に向けて取り組む。

てるや 里美議員(生ネ社)

コミュニケーション能力の育成

質問 いじめの原因の一つとして、言葉で気持ちを伝える能力や共感能力の低下が挙げられている。子どものコミュニケーション能力や社会性をはぐくむ教育を推進せよ。

答弁 コミュニケーション能力の育成に向けた取り組みを充実する。

不登校相談窓口の機能充実

質問 区の不登校相談窓口で対応するスクールソーシャルワーカーは一人しかいない。多数の相談にきめ細やかに対応できるよう、増員を含めた相談機能の充実を図れ。

答弁 よりよい支援につながるよう、教育相談の充実に取り組む。

区立校での減災教育の実施

質問 災害時に臨機応変に判断し、危機を回避することを学ぶ減災教育を受けた子どもが東日本大震災発生時に無事避難できた事例があった。区も減災教育を実施せよ。

答弁 自分の身体と命を自分で守る力を高めるよう取り組む。

すえおか 雅之議員(み・行)

区規則に違反した議案の提案

質問 池尻複合施設用建物の価格について、区は財産評価委員会の評定を受けずに取得の議案を提案する予定だ。評定を義務づけた区規則に違反する議案は取り下げよ。

答弁 法令や規則に抵触するものではないと判断している。

職員の人件費の削減

質問 財政健全化が区の緊急課題であるならば、区長や区議会議員はもとより職員の人件費も削減すべきだ。大阪府と同様に特例措置により職員の給料などを削減せよ。

答弁 特別区の特異性から、大阪府とは異なる状況にあると考える。

脱原発都市を宣言する区長の意志

質問 区長は脱原発都市を宣言することを念頭に置くと言った一方で、原発事故により放射線量の高い川場村への移動教室が続いている。宣言する意志はあるのか。

答弁 宣言について、方向を定めていくべき時期だと考える。



唐沢 としみ議員(生不社)
今後の区政運営への区長の決意

質問 エネルギー政策への提言や被災地支援の取り組みなどに加え、区民生活に身近な施策をより積極的に発信することが必要だ。今後の区政運営への区長の決意を示せ。

答弁 今発信していないことは多いが、すべからずやっていきたい。

質問 区長が示した区政運営方針の実現には、全職員が方針を正しく理解し、職務に臨むことが重要だ。職員との懇談会をふやすなど、庁内への周知方法を工夫せよ。

答弁 職員の入所年次別に区政全体への意見を聞く場をつくりたい。

質問 先の大震災の発生以降、区民の防災意識が高まっている。この機を逃さず、区は災害対策に区民の視点を盛り込み、区民主体の災害に強いまちづくりを進めよ。

答弁 区民の視点を立ち、災害対策総点検を進める。

質問 二子玉川駅への図書館機能の設置

質問 再開発による人口増も踏まえ、図書館空白地域である二子玉川に図書館の一部機能を担う図書館ターミナルだけでも設置するよう以前求めた。検討状況を示せ。

答弁 関係所管が協議を続けており、実現に向けて鋭意努力する。

質問 喜多見まちかど図書室が24年度に、代田図書館が25年度にリニューアルオープンする。これを機に、サービス向上に向け両施設の開館日や開館時間などを見直せ。

答弁 利用者へのサービス拡大を視野に入れて検討している。

質問 高齢者や障害者は重い自転車を駐輪場のラックへ入れることが難しく、電動自転車などではなおさらだ。桜新町以外の駐輪場でも平置きスペースを充実せよ。

答弁 23年度は尾山台などで計387台分の平置きスペースを整備する。

和田 秀壽議員(自民新)
区立校での土曜日授業実施の影響

質問 区はすべての区立校で月1回、土曜日を活用して授業を行う予定だ。部活動や補習授業などへの影響も十分考慮した上で、世田谷9年教育を着実に推進せよ。

答弁 ささまざまな課題を整理しつつ、実施に向けた準備を進める。

質問 勤務実態が過酷なため、都内の公立小の副校長のなり手が不足している。激務を乗り越える力をはぐくむため、区は管理職教員の支援と養成に取り組め。

答弁 学校経営の中心となる副校長と副校長候補者の育成に努める。

質問 出張所とまちづくりセンターは、町会や自治会などを中心とした地域のきずなづくりに一層力を注ぐべきだ。地域人材や退職職員を活用するなど、創意工夫せよ。

答弁 退職職員の活用を検討するなど、人材の活用策に取り組む。

質問 出張所とまちづくりセンターは、町会や自治会などを中心とした地域のきずなづくりに一層力を注ぐべきだ。地域人材や退職職員を活用するなど、創意工夫せよ。

答弁 退職職員の活用を検討するなど、人材の活用策に取り組む。

質問 出張所とまちづくりセンターは、町会や自治会などを中心とした地域のきずなづくりに一層力を注ぐべきだ。地域人材や退職職員を活用するなど、創意工夫せよ。

答弁 退職職員の活用を検討するなど、人材の活用策に取り組む。

質問 出張所とまちづくりセンターは、町会や自治会などを中心とした地域のきずなづくりに一層力を注ぐべきだ。地域人材や退職職員を活用するなど、創意工夫せよ。

答弁 退職職員の活用を検討するなど、人材の活用策に取り組む。

質問 出張所とまちづくりセンターは、町会や自治会などを中心とした地域のきずなづくりに一層力を注ぐべきだ。地域人材や退職職員を活用するなど、創意工夫せよ。

答弁 退職職員の活用を検討するなど、人材の活用策に取り組む。

質問 出張所とまちづくりセンターは、町会や自治会などを中心とした地域のきずなづくりに一層力を注ぐべきだ。地域人材や退職職員を活用するなど、創意工夫せよ。

答弁 退職職員の活用を検討するなど、人材の活用策に取り組む。

質問 出張所とまちづくりセンターは、町会や自治会などを中心とした地域のきずなづくりに一層力を注ぐべきだ。地域人材や退職職員を活用するなど、創意工夫せよ。

答弁 退職職員の活用を検討するなど、人材の活用策に取り組む。

質問 出張所とまちづくりセンターは、町会や自治会などを中心とした地域のきずなづくりに一層力を注ぐべきだ。地域人材や退職職員を活用するなど、創意工夫せよ。

答弁 退職職員の活用を検討するなど、人材の活用策に取り組む。

質問 出張所とまちづくりセンターは、町会や自治会などを中心とした地域のきずなづくりに一層力を注ぐべきだ。地域人材や退職職員を活用するなど、創意工夫せよ。

答弁 退職職員の活用を検討するなど、人材の活用策に取り組む。

中村 公太朗議員(民主)
職員提案制度の活性化

質問 若手職員の仕事への問題意識や提案が行政改革を進める大きな力となる。職員の意欲ある提案を促すため、優れた提案には区長特別賞などを積極的に付与せよ。

答弁 提案が有益な政策実現だと評価できれば、積極的に表彰する。

質問 厳しい財政状況の中、より透明で適切な支出に努めるべきだ。ペンやノートなど、どの部署でも購入している品目は一括して購入し、一層の経費抑制につなげよ。

答弁 費用対効果などの視点で見直し、15年度から個別購買とした。

質問 災害時に生き延びるには、対応能力と知識を備えることが重要だ。災害に対する意識と自助、共助能力の向上に向け、区民の防災士資格の取得を支援せよ。

答弁 資格取得への補助について、災害対策総点検の検討課題とする。

質問 従来、区が施設整備で取り入れてきた水洗便器、電動ドアなどは資源を浪費し光熱水費がかかる上、災害で断水や停電が生じれば使えない設備だ。洗浄水不要の衛生的な小便器、電源不要の体重で開く自動ドアなど、災害に強い新設備の導入に発想を切り替えよ。

答弁 提案のものについて今後調査研究を進め、設置が可能と判断したものについては設置していく。

質問 国は昨年、性同一性障害の児童生徒に教育相談を徹底するよう求める通知を全教育委員会に出している。にもかかわらず相談窓口を明示しない区の対応は誤りだ。保健、人権、教育の各部門連携のもと早急に窓口を明示せよ。あわせて同性愛者らの悩みにも応じよ。

答弁 相談体制を積極的に周知してこなかったと認識しており、今後具体的に取り組む。

質問 従来、区が施設整備で取り入れてきた水洗便器、電動ドアなどは資源を浪費し光熱水費がかかる上、災害で断水や停電が生じれば使えない設備だ。洗浄水不要の衛生的な小便器、電源不要の体重で開く自動ドアなど、災害に強い新設備の導入に発想を切り替えよ。

答弁 提案のものについて今後調査研究を進め、設置が可能と判断したものについては設置していく。

質問 国は昨年、性同一性障害の児童生徒に教育相談を徹底するよう求める通知を全教育委員会に出している。にもかかわらず相談窓口を明示しない区の対応は誤りだ。保健、人権、教育の各部門連携のもと早急に窓口を明示せよ。あわせて同性愛者らの悩みにも応じよ。

答弁 相談体制を積極的に周知してこなかったと認識しており、今後具体的に取り組む。

質問 従来、区が施設整備で取り入れてきた水洗便器、電動ドアなどは資源を浪費し光熱水費がかかる上、災害で断水や停電が生じれば使えない設備だ。洗浄水不要の衛生的な小便器、電源不要の体重で開く自動ドアなど、災害に強い新設備の導入に発想を切り替えよ。

答弁 提案のものについて今後調査研究を進め、設置が可能と判断したものについては設置していく。

質問 国は昨年、性同一性障害の児童生徒に教育相談を徹底するよう求める通知を全教育委員会に出している。にもかかわらず相談窓口を明示しない区の対応は誤りだ。保健、人権、教育の各部門連携のもと早急に窓口を明示せよ。あわせて同性愛者らの悩みにも応じよ。

答弁 相談体制を積極的に周知してこなかったと認識しており、今後具体的に取り組む。

質問 従来、区が施設整備で取り入れてきた水洗便器、電動ドアなどは資源を浪費し光熱水費がかかる上、災害で断水や停電が生じれば使えない設備だ。洗浄水不要の衛生的な小便器、電源不要の体重で開く自動ドアなど、災害に強い新設備の導入に発想を切り替えよ。

答弁 提案のものについて今後調査研究を進め、設置が可能と判断したものについては設置していく。

質問 国は昨年、性同一性障害の児童生徒に教育相談を徹底するよう求める通知を全教育委員会に出している。にもかかわらず相談窓口を明示しない区の対応は誤りだ。保健、人権、教育の各部門連携のもと早急に窓口を明示せよ。あわせて同性愛者らの悩みにも応じよ。

答弁 相談体制を積極的に周知してこなかったと認識しており、今後具体的に取り組む。

佐藤 美樹議員(民主)
ポリオワクチンの接種率の向上

質問 生ワクチンでポリオに感染した事例などの影響から、予防接種の接種率が低下している。不活化ワクチンへの切り替えの国への要望を含め接種率低下への対策を。

答弁 区民が安心して接種できるように体制整備などを国へ要望する。

質問 子どもの急な発病時にも対応できる保育サービスは、仕事をしながらの育児に安心感となる。病児対応型のベビーシッターの検討など、病児保育環境を整備せよ。

答弁 病児・病後児保育施設を順次拡大していきたいと考える。

質問 財政健全化に向け、税外収入の重要性が一層増している。富山市の市立公園の先進事例に倣い、区も区立公園へのカフェなどの誘致による地代収入を検討せよ。

答弁 区有地などの有効活用において一層効果的な手法を検討する。

質問 川場移動教室は中止すべき。先の原発事故でCs137で広島型原爆の168倍など、PuやSr他放射性核種が大量放出との隠された事実を国が公表したことへの評価を示せ。

答弁 通知は認識していないが国の動向を見つつ区の立場を考える。

質問 京王線連立事業の構造形式比較の積算根拠資料の公開を区長は都に求めたが、届いた資料は重要部分が黒塗り。抗議し開示を求め、都市計画作業をやり直すべき。

答弁 事業費の内訳などを開示できない理由を都に求めていく。

質問 車の流入がないことこそが下北沢の魅力だ。小田急線地下化後の当地区の上部利用では、歩行者中心のまちを目指し、幹線道路や駅前ロータリーの整備を見直せ。

答弁 地元住民の意見を聞き、区民参加を得て、よい事業にしたい。

質問 川場移動教室は中止すべき。先の原発事故でCs137で広島型原爆の168倍など、PuやSr他放射性核種が大量放出との隠された事実を国が公表したことへの評価を示せ。

答弁 通知は認識していないが国の動向を見つつ区の立場を考える。

質問 京王線連立事業の構造形式比較の積算根拠資料の公開を区長は都に求めたが、届いた資料は重要部分が黒塗り。抗議し開示を求め、都市計画作業をやり直すべき。

答弁 事業費の内訳などを開示できない理由を都に求めていく。

質問 車の流入がないことこそが下北沢の魅力だ。小田急線地下化後の当地区の上部利用では、歩行者中心のまちを目指し、幹線道路や駅前ロータリーの整備を見直せ。

答弁 地元住民の意見を聞き、区民参加を得て、よい事業にしたい。

質問 川場移動教室は中止すべき。先の原発事故でCs137で広島型原爆の168倍など、PuやSr他放射性核種が大量放出との隠された事実を国が公表したことへの評価を示せ。

答弁 通知は認識していないが国の動向を見つつ区の立場を考える。

質問 京王線連立事業の構造形式比較の積算根拠資料の公開を区長は都に求めたが、届いた資料は重要部分が黒塗り。抗議し開示を求め、都市計画作業をやり直すべき。

答弁 事業費の内訳などを開示できない理由を都に求めていく。

江口 じゅん子議員(共産)
原発、核への区長の見解を問う

質問 原発事故後、原水爆禁止世界大会への参加と区民の声を受け、新たな被曝者をつくってはならないの思いを強くした。区として何ができるか、区長の見解を示せ。

答弁 老朽化した原発などが再稼働しないよう求めたい。

質問 区内に避難している東日本大震災の被災者が引き続き区内で暮らせる場の確保が課題だ。現在空室となっているせたがやの家を応急仮設住宅として提供せよ。

答弁 応急仮設住宅の提供については民間賃貸住宅の活用を進める。

質問 二子玉川再開発のビル風の改善

質問 二子玉川再開発により、住民がビル風におおられ骨折するなどの被害が出ている。地域住民を危険な風害から守るため、抜本的対策を再開発組合に強く求めよ。

答弁 より総合的な風対策を行うよう、再開発組合を強く指導する。

質問 区は就学援助の対象を区立校の児童生徒に限定している。学校生活を支援する本制度の趣旨を踏まえ、都立中学校や国立小中学校に通う児童生徒も対象とせよ。

答弁 これまでの考え方や優先課題などを整理する中で検討する。

質問 区は公園ベンチの設置費として寄附を募る手法を検討している。新たな財源確保策として有効なこの手法を街路灯の維持管理や緑道の樹木保存などにも導入せよ。

答弁 寄附を活用した手法を幅広く検討し効果的な施策を展開する。

質問 障害児タイムケア事業への支援

質問 国の障害児タイムケア事業の新制度への移行に合わせ、区からの事業運営費の補助がなくならないか事業者は危惧している。移行後も変わらず事業者を支援せよ。

答弁 今後示される国の基準などを踏まえ、支援を検討する。

質問 食の安全を守るため、自治体として消費者の目線で食品の放射能を検査すべきだ。国の支援制度を活用し、区民と連携した検査の体制を区独自で早急に整備せよ。

答弁 国の支援による検査機器の活用に向け申請について検討する。

質問 持続可能な世田谷をつくるため、子どもの省エネへの意識を高めるべきだ。学校エコライフ活動を推進することで、家庭でのさらなる省エネの実践につなげよ。

答弁 引き続きエコについて考える力などを高めるように努める。

質問 食の安全を守るため、自治体として消費者の目線で食品の放射能を検査すべきだ。国の支援制度を活用し、区民と連携した検査の体制を区独自で早急に整備せよ。

答弁 国の支援による検査機器の活用に向け申請について検討する。

質問 持続可能な世田谷をつくるため、子どもの省エネへの意識を高めるべきだ。学校エコライフ活動を推進することで、家庭でのさらなる省エネの実践につなげよ。

答弁 引き続きエコについて考える力などを高めるように努める。

上山 なおのり議員(自民新)
商店街組織の強化策

質問 高齢化の進展などにより、商店街には防犯や買い物支援などの公的役割が一層期待される。区内商店街を強化するため、商店街の振興組合化を促進せよ。

答弁 任意商店会の振興組合化に向け、支援内容をさらに充実する。

質問 活力ある地域社会を築くため、地域貢献度の高い事業者に区の公共事業を優先的に発注すべきだ。地域経済活性化への効果などを入札の評価項目に加えよ。

答弁 地域貢献という指標について、検討すべき課題と考える。

質問 急増する保育需要への対応は必要だが、区立園の運営経費の区財政への圧迫などが懸念される。保育サービスを維持できるように、財政的観点から民営化を推進せよ。

答弁 民営化の検証を踏まえ、効果的に取り組める手法を検討する。

質問 学校給食による子どもの被曝をゼロに近づける努力をすべきだ。給食の安全を確保するため、23年度に生産された米の使用に当たりどのような対策を行うのか。

答弁 購入する際には、産地、銘柄、検査結果の確認などを行う。

質問 食の安全を守るため、自治体として消費者の目線で食品の放射能を検査すべきだ。国の支援制度を活用し、区民と連携した検査の体制を区独自で早急に整備せよ。

答弁 国の支援による検査機器の活用に向け申請について検討する。

質問 持続可能な世田谷をつくるため、子どもの省エネへの意識を高めるべきだ。学校エコライフ活動を推進することで、家庭でのさらなる省エネの実践につなげよ。

答弁 引き続きエコについて考える力などを高めるように努める。

質問 食の安全を守るため、自治体として消費者の目線で食品の放射能を検査すべきだ。国の支援制度を活用し、区民と連携した検査の体制を区独自で早急に整備せよ。

答弁 国の支援による検査機器の活用に向け申請について検討する。

質問 持続可能な世田谷をつくるため、子どもの省エネへの意識を高めるべきだ。学校エコライフ活動を推進することで、家庭でのさらなる省エネの実践につなげよ。

答弁 引き続きエコについて考える力などを高めるように努める。

質問 食の安全を守るため、自治体として消費者の目線で食品の放射能を検査すべきだ。国の支援制度を活用し、区民と連携した検査の体制を区独自で早急に整備せよ。

答弁 国の支援による検査機器の活用に向け申請について検討する。

質問 持続可能な世田谷をつくるため、子どもの省エネへの意識を高めるべきだ。学校エコライフ活動を推進することで、家庭でのさらなる省エネの実践につなげよ。

答弁 引き続きエコについて考える力などを高めるように努める。

質問 食の安全を守るため、自治体として消費者の目線で食品の放射能を検査すべきだ。国の支援制度を活用し、区民と連携した検査の体制を区独自で早急に整備せよ。

答弁 国の支援による検査機器の活用に向け申請について検討する。



# する会派等の意見

決算特別委員会での質疑・要望や、本会議で表明された22年度決算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

## 本会議での意見表明者

- 自由民主党世田谷区議団・新風：下山 芳男議員
- 公明党世田谷区議団：岡本のぶ子議員
- 生活者ネットワーク：羽田 圭三議員
- 社会民主党世田谷区議団：村田 義則議員
- 日本共産党世田谷区議団：大庭 正明議員
- みんなの党・世田谷行革110番：風間ゆたか議員
- 世田谷民主党：木下 泰之議員
- 無党派市民：あべ 力也議員
- 減税世田谷：上川 あや議員
- レインボー世田谷：ひうち優子議員
- 世田谷無所属：青空こうじ議員
- 無所属：無所属

## 区政の停滞を招くことがないよう区長は重要政策を直ちに決断せよ

### 自由民主党世田谷区議団・新風

(すべての会計に賛成する意見)

我が会派は責任政党である区議会第一党として、これまで大場区長、熊本区長とともに車の両輪として長年区政運営を牽引し続け、今日の世田谷を築いてきた。引き続き厳しい経済状況への対処や東日本大震災を教訓とした新たな重要課題について、早急に区としての解決の方策や方針を示す必要がある。一方で、区民とこれまで培ってきた世田谷らしい施策の展開について、首長がかわったからといって軽々に方向転換し、区民に混乱を来すことがあってはならない。行政効果や経済効果を検証しつつも着実に継続し、今後も安定した区政運営に努めよ。

区税収は減少が続き、一方で民生費はふえ続けており、財源不足は深刻だ。24年度予算の財源確保への短期的方策と基金をできるだけ取り崩さない中長期的な財政健全化計画を具体的かつ早急に示せ。施策を持続可能なものへと転換

するためには、保育園民営化や新BOPの有料化を進めるなど、制度設計自体を見直し、長期的な経費の抑制を図ることが必要だ。受益者負担の適正化や民間活用による徹底的に早急に取り組み。以下、具体的な施策について、意見を述べる。

首都直下型の巨大地震に対し、全庁的な態勢のもとで英知を結集して備えなければならない。東日本大震災では、庁舎の損壊による自治体機能の不全が大きな課題となった。区の災害対策本部が設置される本庁舎の老朽化は大きな問題であり、財政難とはいえ、本格的な整備を着実に進めよ。また、地域防災力の強化にも取り組めよ。

災害対策としての道路整備も重要だ。住宅が密集し、道路が極めて脆弱な区内での災害時の最大の被害要因は火災だ。延焼を抑え、緊急車両を通し、避難路ともなる道路は区民の命を守る大切な公共施設だ。今こそ区長が決断し、信念を持って粘り強く整備を進めよ。

外環道は区が被災した際に、救援、復旧、復興に大きな役割を担う。区はこれまで東名以南の早期事業化も含めて整備実現へと積極的に取り組んできた。国や都が予算を計上するなど事業が着々と進んでいることを踏まえ、区長は外環道の整備推進を早急に決断せよ。

民生費がふえ続ける中、福祉サービスへの負担は防がなければならぬ。身の丈に合った持続可能なサービスへと調整を図る必要がある。特に生活保護費の増加は深刻であり、自立支援などが急務だ。

一方で、だれもが安心して暮らし続けられるまちを目指してきた世田谷型福祉のありようを見失ってはならない。我々は、老老介護など在宅介護の問題や福祉施設の充実、障害者の地域生活の支援などについて指摘してきた。保健福祉サービスでも無駄を省き、必要なサービスを省き、新たな時

代の世田谷型福祉を構築せよ。下北沢と二子玉川の再開発や外環道整備、京王線連立事業などの区の将来に重要な大型整備整備では、区民の混乱を招くことがないように、区長はこれまでの取り組みを踏まえて事業推進を決断せよ。

地域行政制度は、区政の根幹をなす重要な制度だ。出張所やまちづくりセンターの窓口の充実やあしんすこやかセンターとの機能統合などをしっかりと検討せよ。

地域運営学校や教科日本語、世田谷9年教育などの区独自の教育施策は、人間形成の基本となる郷土を愛する心をはぐくむすばらしい取り組みだと評価する。第3期の教育ビジョンでは、先の震災を踏まえ、子どもがたくましく生きる力をはぐくむ施策に地域や教職員の協力を得ながら一層取り組めよ。

決算審査の中で、議会と執行機関の信頼関係を損ねる極めて不誠実な応対と虚偽の答弁などが問題となった。この事態を引き起こした経緯と背景を明らかにするとともに、二度と同じ轍を踏まぬよう、区長は信頼回復に最大限努力せよ。

今定例会でも、区長からはみずからの関心事以外について明確な答弁が聞かれず、我々の正面からの議論を避けるかのようでもあった。これでは24年度予算の真摯な議論ができるわけがない。この間一貫して我々が求めてきたことは区長の決断だ。区民の声を聞くことは大切だが、50年、100年先を見通して必要な施策であるかどうかを判断し、決断するのが区長の責務だ。区長は世田谷をどのようなまちにしたいのか。区民のために何をしたいのか。世田谷の子どもに何を残したいのか。保健区長はすでに数多くの国会議員の一人ではなく、88万区民の唯一無二の世田谷区長だ。もういい加減にしてほしいと強く申し上げる。

## 情報隠しと虚偽答弁を猛省し区民の利益を最優先に職務に臨め

### みんなの党・世田谷行革110番

(一般会計に反対、その他の会計には賛成する意見)

22年度決算は根本的な財政健全のビジョンを示せぬまま基金を取り崩して編成した予算の結果報告だ。経済情勢は厳しく税収減が必ず至る中、利益の分配ではなく負担の分担を議論すべきだと求めてきたが、区が案を示さない以上、財政に関する議論のしようがない。

デジタル映像産業誘致支援事業は中止となったが、当事業での税金のずさんな使われ方に対して強い怒りを感じる。区長は中止に至る経緯の全容解明を徹底するとともに関係職員の厳正な処分を行え。

決算審査の過程で明るみに出た情報隠しや虚偽答弁、重要書類の廃棄は議会と区の信頼関係を著しく損ねる重大な事態であり、情報公開の徹底を掲げた区長の姿勢と矛盾する。いい加減な事業者を擁護し続けてきた区の姿勢は到底許されるものではなく、職員は区民の利益を最優先に職務に当たれ。

最後に、我が会派として世田谷の文化を生かした取り組みを提案する。烏山寺町にある寺の「余りにもうま過ぎて禁じたそば」にまつわる話にちなみ、そば打ち大会やそばに関するイベントを実現せよ。

## 旧態依然とした姿勢を改め時代に対応した区政運営を行え

### 世田谷民主党

(すべての会計に賛成する意見)

今回の決算審査では、区長が今後、何に取り組んでいくのかが明確になる一方、時代の変化に対応しきれない旧態依然とした行政内部の課題が明らかになった。

区長が保育待機解消に向けてさまざまな手法で定員枠をふやすと答弁した一方で、担当部署からは消極的な答弁が聞かれた。区長の方針に従い、迅速に取り組めよ。無駄な支出をなくすため、行政委員の報酬を日額制とせよ。また、課長の権限で結べる50万円以下の契約のあり方を見直せ。

弦巻での高い放射線量確認後の迅速な対応は評価するが、放射線量が高い川場村への移動教室は中止し、他所での実施を検討せよ。区長の車座集会での議論の要旨を一層透明かつ迅速に公開せよ。

デジタル映像産業誘致支援事業に関する議会での虚偽答弁は、区民への背信行為だ。再発防止に向け、関係職員を厳正に処分せよ。また、この事業に関する資料を個人の判断で廃棄したのは情報隠れいともとれる。全容を解明せよ。リスクマネジメントの観点から、行政内部の問題をチェックするコンプライアンス室を設置せよ。

## 持続可能な財政基盤を構築せよ

### 減税世田谷

(すべての会計に賛成する意見)

前区長からの区財政危機解消と、持続可能な財政基盤の構築が急務だ。まずは情報公開の徹底と対話を通じた区民との合意形成に努め、職員も議会も行政改革を一層進めよ。また、新たな基本構想などに区民意見を反映し、区の制度設計の再構築により、成長戦略を描けよ。

区長の理念には共感するが具体策が不明瞭。情報発信の強化が必要だ。区長が招集挨拶で語った日本の福祉が「全国均質なサービス提供の形で展開されてきた」との見解も誤りだ。地方政治から見て自治体間の格差は広がる一方だった。現実的に即した対策の強化が必要だ。

24年度からの中学校理科での放射線教育の内容と指導を充実せよ。災害時でもつながりやすい公衆電話の設置場所を周知せよ。区内清掃工場で発電した電気の区への供給拡大を清掃一組に求めよ。マンホールの滑りどめ対策、一方通行進入禁止の標識の改善に取り組み。

放射能問題の混乱期にある今、身近な政府元年と見立て、区民の気持ちに寄り添い、一緒に考え行動してこの困難を乗り越えよ。区民からの信頼を得られるよう、職員に職務に対する自覚を促せ。区は区内の活動団体同士を結びつけ、相乗効果を生み出す役割を担え。



【東日本大震災復興支援 世田谷の集い】の様子 (二子玉川緑地運動場)

再開発優先の前区長の一一般会計決算認定には反対。脱原発と情報公開、大規模再開発見直しは区長の公約。方針を示し再開発を見直せ。川場村移動教室は中止し放射線リスクから子供を守れ。村でプリントウム、ストロンチウム調査が阻まれた経緯究明と調査履行を。

区民とともに困難を乗り越えよ (すべての会計に賛成する意見) 無所属





決算特別委員会の質疑の模様をホームページで  
ライブ中継・録画配信しています。

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>

**議会中継** をクリック！

# 22年度決算に対

区民が安心して暮らせるよう  
予防型福祉行政を構築せよ

公明党世田谷区議員

(すべての会計に賛成する意見)

区は施策の優先順位や事業効果を再検証し歳出削減を徹底するとともに、効率的な財源配分を行い区民の生命と財産を守ることを最優先にこれまで取り組んできた。特に、保育定員枠の拡大や区立校の耐震化、女性特有のがんの検診無料クーポン事業の実施、新型インフルエンザなどのワクチン接種への助成、プレミアム付区内共通商品券の発行支援、公共工事の前倒し発注による緊急総合経済対策などに取り組んだことを評価する。

一般会計決算では、実質公債費比率が前年度より改善し、その他の健全化判断比率も適正範囲内であった。しかし、景気回復による歳入の大幅な改善は当面見込めず、一層徹底した行政改善の取り組みが不可欠だ。区民が安全に安心して暮らせるまちづくりに向け、限られた財源をより効果的、効率的に活用し、持続可能な財政基盤を構築するよう強く求める。

以下、個別具体的な課題について、意見を述べる。

第1に、高齢化や災害に対応するには、出張所とまちづくりセンターの機能強化を含めた区政構造全般の検証が必要だ。新しい基本構想を策定する際には、地域行政制度のあり方を改めて検証せよ。

第2に、持続可能な財政基盤の構築に向け、財政の見える化に最優先で取り組むべきだ。数字を客観的に分析でき、職員のコスト意識を高めることにもつながる複式簿記を区の会計制度に導入せよ。

第3に、災害時の要援護者への支援が不十分だ。区と町会との災害時要援護者支援の協定の締結が進まない原因を町会ごとに分析し

て改善を図れ。また、出張所やまちづくりセンターが地域の調整役となり、機動的に要援護者を支援できる体制を早急に構築せよ。

第4に、保育待機児の解消が急務だ。保育施設の整備を着実に進めよ。だれもが定期利用保育事業を利用しやすくするよう、料金設定を見直せ。幼児教育と連携した新たな保育施設の整備のあり方を検討せよ。児童虐待の防止に向け、元気高齢者などの協力を得て、子育て世代の多様な保育需要に地域ぐるみでこたえる仕組みをつくれ。

第5に、予防型福祉行政を構築すべきだ。特に死因別死亡率の4割を占めるがんへの対策として、検診の拡充と受診率向上への取り組みが不可欠だ。土日や夜間受診の拡大などにより検診機会をふやせ。子宮頸がんワクチンやHibワクチン、肺炎球菌ワクチンなどの接種事業を継続するとともに、助成の拡充に取り組め。

また、若者の可能性を引き出す施策が必要だ。区長のリーダーシップのもと、若者を支援する専門組織を設置し、ひきこもりやニートの予防と解決に有効な気軽に相談できる居場所づくりに取り組め。最後に、区民の生命と財産を守るため原発事故に伴う放射能問題では適切な対応と情報提供を行え。

情報開示と区民参加を一層進め  
区民意見を大切にしたい区政を行え

生活者ネットワーク・  
社会民主党世田谷区議員

(すべての会計に賛成する意見)

22年度の予算審査では、二子玉川再開発に対する住民意見の集約前に関連工事を含んだ予算案が出されたため、修正案を提出した。この修正案が否決となったことから一般会計予算には反対したが、今後保坂区長が住民との対話や事業計画の精査を行い、問題点の改善を事業者へ要請することなどが

確認できたことから、22年度決算には賛成する。引き続き区民意見を大切にしたい区政運営に努めよ。以下、具体的な課題について意見を述べる。

福祉や社会保障を拡充することが将来的に財源確保につながる。ひきこもりなどの若者への支援を充実して就労を促し、税収増につながるなど将来を見据えて取り組め。歳出削減に向け電気料金の削減が期待できるPPS事業の導入を検討せよ。事業の優先順位を決める手法として、行政評価や予算編成過程の可視化と区民参加を進めよ。区民や事業者、NPOなどと協働し、災害に強いまちづくりと福祉を優先した区政運営を行え。

子ども医療費助成に所得制限を設けるな。子どもオンブズパーソン制度を導入せよ。認可園分園の増設など子育て支援を一層進めよ。だれもが住みやすい環境の整備に向け、高齢者介護の家族負担の軽減や高齢者を地域で支える取り組みに力を注げ。梅ヶ丘病院跡地に精神保健の支援拠点を整備せよ。

放射能から区民を守るため、区が責任を持って迅速かつ正確な対応と情報提供を行え。これまでの省エネや節電対策をきっかけに、区にとってふさわしい自然エネルギー政策を区民とともに推進せよ。平和市長会議に加盟した世田谷から、脱原発や核兵器廃絶に向けて行動を全国へ発信せよ。

大型開発優先の前区政から転換し  
区民が真に求める政策を実現せよ

日本共産党世田谷区議員

(一般会計と国保会計と後期高齢者会計と介護会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

経済状況が厳しいときにこそ、福祉施策の充実や中小企業の支援に全力で取り組むことが区政のありべき姿だ。しかし区は、二子玉川再開発や大型道路の整備に巨額の税金を投入する一方、23年度に

はがん検診の有料化などを行った。厳しい区民生活に追い打ちをかけた一般会計決算などに反対する。前区政からの転換を望む区民の切実な思いを保坂区長は実現せよ。以下、今後の区政運営について要望する。

先の震災の被災者を引き続き全力で支援せよ。住宅の耐震化などの防災対策をさらに強化せよ。

区民と協力した放射能測定や学校給食の食材の放射能検査体制の拡充に取り組め。放射線量が高い川場村への移動教室は休止し、今後も川場村での徹底した測定とその結果の公表、必要な除染を行え。区は自然エネルギーの活用に向けて大胆に取り組み、脱原発社会実現への先導的役割を担え。特養ホームや保育園の増設に向け、国有地などの活用を図れ。国保料滞納者に対する学資保険などの差し押さえはやめよ。がん検診と区民健診の受診料を無料に戻せ。

二子玉川再開発II期事業の補助金交付を中止せよ。下北沢駅前開発や外環道整備などは、区民の声を聞いて抜本的に見直せ。

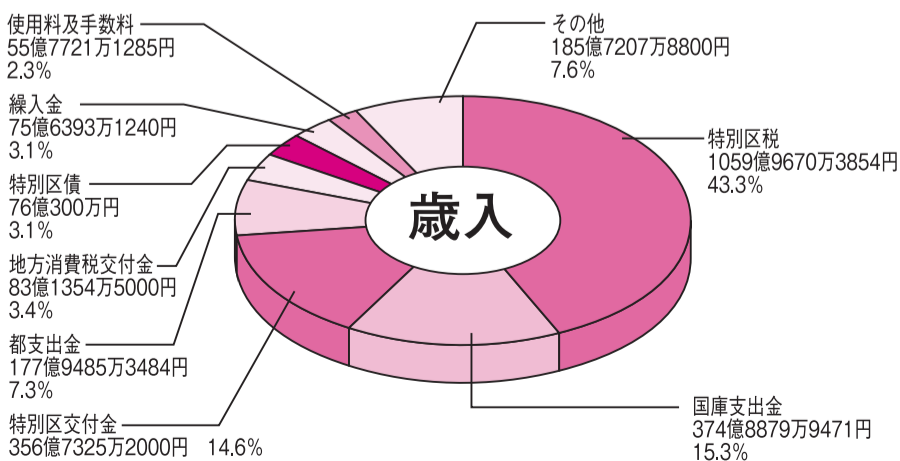
区長は大型開発優先の前区政からの転換や福祉文化都市の創造を公約した。区民の負託にこたえた区政の実現に全力で取り組め。



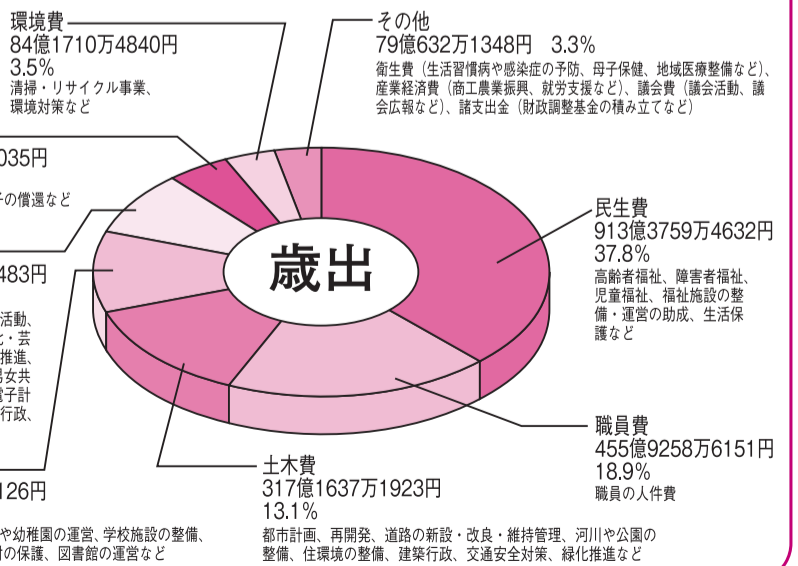
## ●平成22年度各会計決算額●

	歳入決算額	対前年度比伸率	歳出決算額	対前年度比伸率	歳入歳出差引額
一般会計	2445億8337万5134円	-2.4%	2416億1065万1538円	-2.3%	29億7272万3596円
特別会計					
国民健康保険事業会計	748億5583万399円	0.3%	727億4886万5098円	0.8%	21億696万5301円
後期高齢者医療会計	150億2018万3141円	3.1%	149億608万491円	2.8%	1億1410万2650円
老人保健医療会計	4330万4364円	-91.7%	4330万4364円	-91.5%	0円
介護保険事業会計	447億4086万3966円	5.9%	445億8875万3821円	6.6%	1億5211万145円
中学校給食費会計	1億6468万2580円	-9.8%	1億6098万5065円	-11.6%	369万7515円
計	3794億823万9584円	-0.9%	3740億5864万377円	-0.6%	53億4959万9207円

### 一般会計決算の内訳 (%=構成比)



## 平成22年度 決算のあらまし





# 第4回定例会は11月28日から12月7日まで開催する予定です

(1ページからの続き)

## ●財産の取得

○仮称池尻複合施設用建物  
賛成 自民新、公明、生ネ社、共産  
賛成多数 無党派、減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、民主

相手方 住友商事株式会社  
用途 保育園、児童館、地区会館、健康増進・活動施設など。  
建物概要 鉄筋コンクリート造4階建  
買収金額 一億七千六百万二千五百円  
所在地 池尻2-1-124

## ●特別区道路線の認定

賛成 自民新、公明、生ネ社、み行  
賛成多数 民主、減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

## ●特別区道路線の廃止

賛成 自民新、公明、生ネ社、み行  
賛成多数 民主、減税、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

## ●人権擁護委員候補者の推薦

(全員賛成)  
次の候補者を法務大臣あてに推薦することを可とする答申。

## 議会日誌

閉会中に開催された委員会	
7月4日(月)	企画、区民、文教、災害
7月5日(火)	福祉、都市
7月7日(木)	福祉、都市
12日(火)～14日(木)	区民(視察)、都市(視察)
13日(水)～15日(金)	企画(視察)、文教(視察)
21日(木)～23日(土)	福祉(視察)
28日(木)	企画、区民、文教、環境
29日(金)	福祉、都市
8月25日(木)	福祉、都市
9月5日(月)	企画、区民、福祉、都市、文教
6日(火)	企画、区民、福祉、都市
7日(水)	分権、災害、環境、交通
9日(金)	議運

会期中の主な会議日程	
9月20日(火)	本会議(代表質問)、議運、災害、環境
21日(水)	本会議(代表質問)、議運
22日(木)	本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託など)、決算
26日(月)	企画、区民、文教
27日(火)	福祉、都市
28日(水)	分権、災害、環境、交通
30日(金)	本会議(議案の議決など)、議運
10月4日(火)	決算(総括質疑)
5日(水)	決算(企画総務委員会所管分)
7日(金)	決算(区民生活委員会所管分)
11日(火)	決算(福祉保健委員会所管分)
13日(木)	決算(都市整備委員会所管分)
14日(金)	決算(文教委員会所管分)、区民
18日(火)	決算(補充質疑)
21日(金)	本会議(議案の議決、請願の付託など)、議運

委員会名称	委員長	副委員長	委員
企画	石川 征男(自民新)	岡本 のぶ子(公明)	桜井 稔(共産)
福祉	羽田 圭二(生ネ社)	中塚 さちよ(民主)	唐沢 としみ(生ネ社)
分権	唐沢 としみ(生ネ社)	唐沢 としみ(生ネ社)	唐沢 としみ(生ネ社)
環境	唐沢 としみ(生ネ社)	唐沢 としみ(生ネ社)	唐沢 としみ(生ネ社)
交通	唐沢 としみ(生ネ社)	唐沢 としみ(生ネ社)	唐沢 としみ(生ネ社)
決算	唐沢 としみ(生ネ社)	唐沢 としみ(生ネ社)	唐沢 としみ(生ネ社)

氏名	住所
武田 邦信(新任)	宮坂

## ●議員提出議案

○オウム真理教(「アレフ」及び「ひかりの輪」)に対する公安調査庁による観察処分期間更新を求める意見書  
(全員賛成)

## ●常任委員会の委員の所属変更

(全員賛成)  
唐沢としみ議員(生ネ社)の所属委員会を区民生活常任委員会から都市整備常任委員会に、ひうち優子議員(世田谷)の所属委員会を都市整備常任委員会から区民生活常任委員会に変更。

## ●議会運営委員会の委員定数の変更

(全員賛成)  
会派等の構成の変更に伴い、委員定数を12人から13人に変更。

## ●議会運営委員会の委員の選任

(全員賛成)  
羽田圭二議員(生ネ社)を選任。

## ●特別委員会の補欠委員の選任

(全員賛成)  
津上仁志議員(公明)と中塚さちよ議員(民主)を災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会の委員に、羽田圭二議員(生ネ社)と佐藤美樹議員(民主)を環境・エネルギー問題対策特別委員会の委員に選任。

## ●正副委員長の互選結果の報告

○都市整備常任委員会  
副委員長 唐沢としみ(生ネ社)

○災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会  
副委員長 中塚さちよ(民主)

○環境・エネルギー問題対策特別委員会  
委員長 羽田圭二(生ネ社)

○決算特別委員会  
委員長 石川征男(自民新)

○副委員長 岡本のぶ子(公明)

○副委員長 桜井稔(共産)

## 請願

○企画総務常任委員会に付託 2件  
・陳情をお知らせします。  
・皆さんから新しく出された請願

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出に関する請願

○「(仮称)桐喝訴訟防止法」の検討と成立に向けて国への意見書等提出に関する請願

## ●区民生活常任委員会に付託

1件  
○外国人住民に係る基本台帳制度の施行時期に関する陳情

## ●福祉保健常任委員会に付託

5件  
○世田谷区内の福祉移動サービス提供事業環境の整備、強化に関する陳情

## ●都市整備常任委員会に付託

4件  
○都市計画道路補助第128号線街路拡張工事に反対する陳情

## ●文教常任委員会に付託

1件  
○世田谷区立小中学校における放射能対策を求める陳情

## 意見書

区議会は、次の意見書を関係機関あてに提出しました。  
○オウム真理教(「アレフ」及び「ひかりの輪」)に対する公安調査庁による観察処分期間更新を求める意見書

オウム真理教は、平成7年の地下鉄サリン事件を初め、無差別大量殺人を行うなど、凶悪な犯罪を重ねてきました。現在は「アレフ(教団主流派)」及び「ひかりの輪(上祐派)」に分裂し、名称を改めて別団体を標榜しているものの、麻原彰晃こと松本智津夫死刑囚の教義を隠し持つなど実態は変わっておらず依然として不穏な活動を

続けています。公安調査庁の発表によれば、国内には信者が約500人おり、約30カ所余りの場所に居住または拠点施設を有し、危険な教義を保持し続けています。

世田谷区内においても、平成12年12月に信者が大量転入して以来、烏山施設が本部拠点化され、活発な活動を続けております。地元住民はもとより多くの区民の不安と恐怖はいまだ解消されておりませ

ん。区も住民の安全で安心な生活を取り戻すため、地元住民とともに積極的に活動を展開しております。しかし、自治体や住民の力には限界があり、これまでも世田谷区を挙げてオウム真理教問題の早期解決に向けた抜本的な対策を国に対して要望してきたところであります。

このような状況の中、来年1月末には、平成21年1月に期間が更新された、オウム真理教(「アレフ」及び「ひかりの輪」)に対する「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づく公安調査庁の観察処分期間が満了を迎えようとしています。

このままでは、区民の不安と恐怖はますます高まる懸念があります。

よって世田谷区議会は、オウム真理教(「アレフ」及び「ひかりの輪」)を引き続き観察処分とすることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出いたします。

平成23年10月21日  
法務大臣、公安調査庁長官、公安審査委員会委員長 あて

## ●会派等の構成の変更

「生活者ネットワーク世田谷区議団」と「社会民主党世田谷区議団」が8月31日付で会派を解消し、同日付で新たに「生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団」を結成しました。

この結果、区議会の会派等の構成は次のとおりになりました。

自由民主党世田谷区議団・新風	16人
公明党世田谷区議団	10人
生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団	6人
日本共産党世田谷区議団	5人
みんなの党・世田谷行革110番	4人
世田谷民主党	4人
無党派市民	1人
減税世田谷	1人
レインボー世田谷	1人
世田谷無所属	1人
無所属	1人
合計	50人

## 編集後記

○今定例会では、34名の議員が、災害に強いまちづくりの推進や行政改革の徹底など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。本会議や予算・決算特別委員会が開催される際には、その模様を区役所第1、第3庁舎、総合支所、文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーで生中継いたしますので、ぜひごらんください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL (5432) 2779  
TEL (5432) 2779  
FAX (5432) 3030



本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(本会議の分は11月下旬、決算特別委員会の分は12月下旬の発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。